

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 70代	大腸内視鏡検査 の前処置 (高血圧症, 高 脂血症, 不眠 症, 慢性胃炎, 胃潰瘍, 肩こ り, アレルギー 性鼻炎, 頭痛, めまい)	50g 1日間	腎不全 (乏尿, 倦怠感), 蕁麻疹 (全身), 血圧低下, 歩行困難	
				既往歴: 逆流性食道炎, 子宮筋腫, 白内障, 胆石症, 胆嚢切除, 高血圧, 高脂血症	
				投与1日前	腸管ガス貯留の精査目的に大腸内視鏡検査を実施することとし, 夕方にクエン酸マグネシウム 50g, センノシド 36mg を服用。
				投与日	前処置として本剤を5錠×10回/日+水2L及びメトクロプラミド50mgを投与し, 大腸カメラ施行。検査後より血圧低下 (BP 74/56mmHg) が認められたが, すぐに回復 (BP 106/59mmHg) したため, 帰宅。帰宅後, 倦怠感強く, 歩行困難となった。また, 全身の蕁麻疹が発現した。
				投与2日後	歩行困難は無処置にて回復した。
				投与3日後	外来受診。腎不全 (乏尿及び倦怠感), 全身の蕁麻疹にて入院となった。入院時の血液検査にてBUN47.1mg/dL, Cr4.79mg/dL, eGFR7mL/min。乏尿について, 具体的な尿量は不明であるが, ほとんど出ていなかった。蕁麻疹に対して, プレドニゾン10mg×2回/日, d-クロルフェニラミンマレイン酸塩製剤6mg×2回/日の内服及びジフルプレドナートクリームの外用にて処置を行い, 腎不全に対して, 補液 (酢酸リンゲル液500mL×5回/日) を開始。
				投与7日後	全身蕁麻疹は回復と判断した。
				投与58日後	腎機能は徐々に改善し, 補液 (酢酸リンゲル液) の投与を終了。
				投与71日後	血液検査にてBUN25.7mg/dL, Cr1.60mg/dL, eGFR25mL/minまで改善。
投与72日後	前日の血液検査の結果をもって退院とし, 外来による経過観察となった。				
投与118日後	血液検査にてBUN28.3mg/dL, Cr1.59mg/dL。eGFRは25mL/minで頭打ちとなっており, 慢性腎不全と判断した。				

臨床検査値

	投与 4日前	投与 3日後	投与 7日後	投与 17日後	投与 32日後	投与 46日後	投与 71日後	投与 118日後
BUN (mg/dL)	15.2	47.1	57.3	37.1	21.1	21.2	25.7	28.3
Cr (mg/dL)	0.66	4.79	3.9	2.88	1.94	1.67	1.6	1.59
UA (mg/dL)	3.5	6.2	5.7	4.4	2.8	3.4	4.6	6.8
LDH (IU/L)	206	252	270	221	173	173	155	179
Na (mEq/L)	144	142	142	141	143	145	143	145
K (mEq/L)	4.6	3.5	3.9	4	3.5	4	4.5	4.2
Cl (mEq/L)	103	101	105	103	105	108	109	106
Ca (mg/dL)	9.6	7.7	8.1	8.3	9	8.9	9.1	9.4
P (mg/dL)	4.3	5	4.6	4.1	4.1	4.5	4.7	4.1
eGFR (mL/min)	—	7	—	—	—	24	25	25

併用薬: ペリンドプリルエルブミン, テルミサルタン, カルベジロール, アムロジピンベシル酸塩, センノシド, クエン酸マグネシウム, メトクロプラミド, トフィソパム, トリアゾラム, イトプリド塩酸塩, ランソプラゾール, プラバスタチンナトリウム, チザニジン塩酸塩, ベタヒスチンメシル酸塩, フェキソフェナジン塩酸塩, ケトプロフェン